

会場で人気を集めていた非公式キャラクタ
ー「れんが〜」＝舞鶴市の市政記念館



KYOTO 京都

京都総局

〒600-8412
京都市下京区烏丸通仏光寺上
ル二帖半敷町655
近鉄京都烏丸ビル7階
☎ 075 (351) 9145
FAX 075 (341) 6610
けいはんな支局
〒610-0334
京田辺市田辺中央1-5-5

橋本ビル5階
☎ 0774 (79) 0192
FAX 0774 (68) 1350
舞鶴支局
〒625-0036
舞鶴市浜741-1
西村ビル2階
☎ 0773 (62) 2160
FAX 0773 (65) 2021
京丹後通信部
☎ 0772 (64) 5600



天気
南の風後や強く海
上では後雨の風強く
もり曇り過ぎから雨

☐のち
□一時時々
丸数字は左から午前、
午後、夜の降水確率。
予想気温は左が最高、
右が最低

週間予報……京都北部

4日(水) 5日(木) 6日(金) 7日(土) 8日(日) 9日(月)

街の話題や事件事故などの
情報をお寄せください。

✉ 日経メール

maizuru@sankei.co.jp

あすのこよみ

(4日)
旧1月14日
〈友引〉



月齢	13.1
日出	6:26
日入	17:56
月出	16:43
月入	5:15
満潮	0:55
干潮	14:43
大潮	8:23
小潮	19:55

(舞鶴港)

赤れんが使い 舞鶴活性化を

府立大生ら、研究成果披露

舞鶴市のシンボル、赤れんがをまちづくりを活かそうと、府立大の学生たちと市民が一緒になって考える「舞鶴赤れんがまちづくり研究会」の第2回報告会が、舞鶴赤れんがパーク(同市北吸)の市政記念館で開催された。この1年間の研究成果が披露され、新しい赤れんがとして開発された「QBB(クイック・

ビルド・ブリック)」の紹介や学生たちによる政策提言などが行われた。同研究会は、府立大公共政策学部の杉岡秀紀講師を中心に、市民や研究者、杉岡ゼミの学生らによって構成。アンケート調査を行うなど、2年前から研究を続けている。

学生たちによる政策提言は、「赤れんがエコミュー

一方、「QBB」は同市喜多の「DIY STYL E」社長、森本隆さんが開発したもので、報告会では工作体験もできる5分の1の模型を紹介。報告会の参加者たちは、「QBB」を使ったペイントや工作など

「東舞鶴」「西舞鶴」「加佐」「大浦」の4つの地域に分けて、それぞれの特色を紹介。観光客だけでなく市民も対象として、新鮮な農産物、海産物の販売のほか、赤れんが工房体験など体験型の展示も楽しんでもらう。「地元の人にはなかなか発想しにくいかもしれないが、あえて地域対抗にして舞鶴全体の良さを改めて感じてもらうことにした」と(杉岡講師)。

地元の佐波賀だいこん 給食に 舞鶴・大浦小、児童ら舌鼓



子供たちに「佐波賀だいこん」の説明をする後藤明子さん＝舞鶴市の大浦小

京の伝統野菜「佐波賀だいこん」を身近に感じてもらうようと、メニューに取り入れた給食が2日、舞鶴市平の大浦小で行われた。児童らは、「佐波賀だいこん」を使ったふりかけやおでんなどをおいしそうに頬張っていた。

を体験していた。会場には、学生や市民らが考えた非公式キャラクタ「れんが〜」も登場。赤れんが倉庫をイメージしたかわいいうデザインで、人気を集めていた。杉岡講師は「研究成果がいよいよ形になってきた。次年度以降は、実現に向けてどういった課題があるか考えていきたい」と話していた。

